

平成29年度（津久井養護学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守の向上	公務員倫理意識の徹底を図る。	6月の職員会議で公務員のコンプライアンス、神奈川県職員行動指針を取り上げ、意識啓発を行った研修を行った。また、8月に副校長より服務規律の徹底について行い意識の向上がはかれた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	ハラスメントは著しい人権侵害であることを理解し、人権感覚を磨く。	7月の職員会議で「わいせつ・セクハラ」を取り上げ、意識啓発を行った。また、8月30日には総合教育センター職員より研修を行い、グループを作り、事例をもとにしたグループワークを行った。学部をこえたメンバーで職員が自ら考えるワークを行うことができ人権感覚を深めることができた。
体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導の根絶。	8月の職員会議で体罰の事例を取り上げ、意識啓発を行うことができた。体罰・不適切な指導については絶対にあってはならないことを学ぶことができた。
成績処理及び進路関係書類（地域支援・個別教育計画等含む）の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づく確実な業務の実施と点検体制の確立	9月の職員会議で資料をもとに行政文書の保存期間や、これまでにあった事例、不祥事のヒアリハットを防ぐための注意点を学び、意識啓発を図る研修を実施し、文書の重要性を再確認した。また、入学選抜等に係る文書内容及び管理の徹底をはかることができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流出防止と情報管理の徹底。	8、10月の不祥事防止研修会にて個人情報を含む情報管理の徹底を行い、文書管理について整理及び重要情報の回議について専用ファイルの購入や手順の整理等を徹底することができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	情報を共有するための具体的な方法とチェック体制のあり方について	11月の職員会議で情報共有・相互チェック体制・業務協力体制を取り上げ、意識啓発を行った。特に協力体制として、各個人が業務を一人で抱え込まないように再度確認した。
交通事故防止、飲酒・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止、飲酒・酒気帯び運転防止のための啓発を行う。	12月の職員会議で年末年始における教職員の綱紀保持について取り上げ、その重要性を再確認し意識啓発を行った。
会計事務の等の適正執行	会計事務における不適正処理の防止。	1月の職員会議で私費会計の取扱いについて取り上げ、意識啓発を行った。適正な執行が行えている。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度は主要な項目のほとんどを取り上げ、自ら考える研修により職員の意識向上が行え、不祥事につながることなく取り組むことができた。今後も引き続き取り組むとともに、平成30年度は特に個人情報に関する事、法令順守に関する事を重点的に取り組んでいきたい。